

阿倍野区 防災マップ

(全域版)

災害時に備えるために、自宅や地域の特性を知り、非常持ち出し品、避難場所、避難方法などについて家族や近所で話し合ってください。

このマップを、いつでも確認できるところに保管しておきましょう

必ず実行!! 毎年1回はチェックを!!

- 家族で避難場所や避難経路を複数決めておきましょう
- 地域や近所の方々と避難について話し合しましょう
- 非常持ち出し品を準備し年1回は点検しましょう
- 自宅や自室の危険な場所を確認し耐震対策をしましょう
- 災害情報の集め方を確認しましょう
- 災害用伝言ダイヤルの使い方を覚えておきましょう

阿倍野区

緊急連絡カード

緊急連絡カード		避難所	一時避難所
避難所	TEL	家族が離ればなれになったとき	避難先
氏名	男・女	連絡先	TEL
生年月日	年月日 血液型 RH + -	居住先	
氏名		医療機関連絡先	健康保険証番号
保険者	TEL		
勤務先	TEL		
勤務先	TEL		

- 家族の避難場所や落ち合う場所
地震が発生したらどこに避難するのか、前もって避難場所を確認しておきましょう。また、実際に避難場所まで歩いて避難先を確認しておきましょう。
- 家族が離れているときやバラバラになったときは、どこで落ち合うかが決めておきましょう。
- 安否確認の方法
家族の連絡方法を決めておきましょう。避難するときは自宅に避難先などの張り紙をし、安否を確認するルールを決めておきましょう。
- 他府県の親類か友人を選んで電話連絡先として決めておくや安否確認がしやすいようにします。
- 決めたことは緊急連絡カードや防災カードに記入して携帯するようにしましょう。

非常時などの連絡先

ガス漏れ (大阪ガス)	かかりつけの病院
電気 (関西電力)	
断水 (水道局)	
電話の故障 (NTT)	

避難済み表示シールについて

自宅から避難所等に避難する場合など、自宅の玄関に避難済みであることを知らせるため、予め避難済みステッカーを作成するなど用意し、退避時に貼っておきましょう。

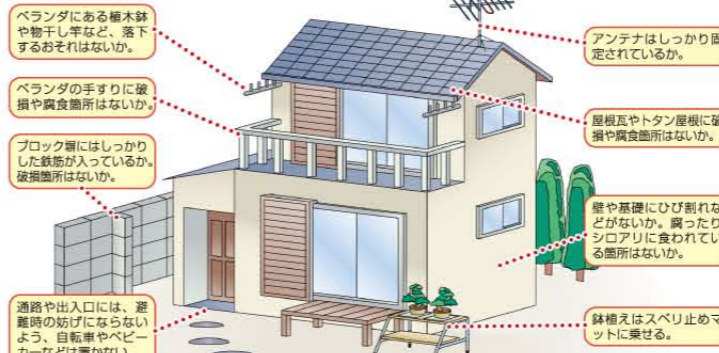
企画・発行 阿倍野区役所

阿倍野区地域振興会 阿倍野区社会福祉協議会
阿倍野区医師会 阿倍野区歯科医師会 阿倍野区薬剤師会
阿倍野消防署

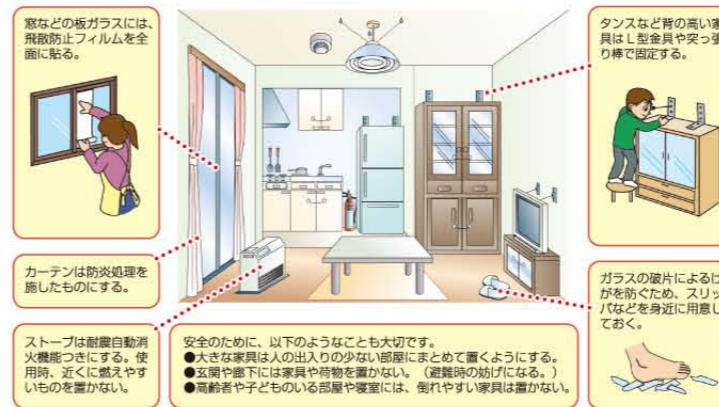
災害への備え

我が家の地震対策

屋外の備え・点検箇所



屋内の備え・点検箇所



非常持ち出し品

大規模災害時、被災地に救援物資が届くまでには、おおむね3日かかるといわれています。非常持ち出し品は、必要最小限のものを厳選し、一つにまとめてすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

- 高齢者や乳幼児など、家族構成に応じて特に必要なのがあげばついでに覚えておきましょう。
- 非常持ち出し品は保存状態や使用期限などを定期的に点検し、必要に応じて新しいものに交換しましょう。
- 避難の際は、各自の判断で持ち出し品をまとめましょう。

災害用伝言ダイヤル171

「171」災害用伝言ダイヤル

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスに接続します。事前予約など一切不要です。家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。

NTT西日本 災害用伝言ダイヤル
http://www.ntt-west.co.jp/dengan/

●他社携帯・PHSおよびパソコンからの安否情報の確認方法
NTTドコモ http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
au by KDDI http://dengon.etweb.ne.jp/
ソフトバンクモバイル http://dengon.softbank.ne.jp/
イー・モバイル http://dengon.emnet.ne.jp/
ウィルコム http://dengon.willcom-inc.com/

地震発生! その時どうする?

●地震発生!

- 落ち着いて
何が起きたのか瞬間に判断できません。数秒の揺れでも、とても長く感じます。
- 身の安全を確保しましょう
頭を保護し丈夫な机の下などに身を隠します。家具の転倒や落下物には十分に注意しましょう。
- 火に近づかない
都市ガスは震度5相当以上で自動的に遮断されます。無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで近づかないようにしましょう。
- 人が大勢いる場所ではあわてて出口走り出さないで、係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。
- エレベーターでは
ただちに各階のボタンをすべて押し、停止した階で素早く降ります。停電などで閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めます。
- 自動車運転中は
大きな揺れを感じたら、ハザードランプを点灯させて、緩やかに速度を落とし、道路の左側に停止しましょう。

●揺れがおさまった!

- 被災者の救助
近所で声を掛け合い、安否の確認をしましょう。けが人がいた場合、応急手当をしましょう。重傷者は病院に搬送しましょう。
- 消火活動をしなす
動けるようであれば、すばやくガス器具やストーブなどの火を消しましょう。
- 出口を確保しましょう
揺れでドアが開かなくなることもあります。玄関、部屋のドア、窓などを開けて避難口を確保しましょう。
- 床や地面の散乱物に注意しましょう
ガラス片を踏むと、避難活動などに支障がでます。普段から所定の位置や机の下に靴やスリッパなどの置き物を用意しておきましょう。
- ブレーカーを落としましょう
電気製品に電源が入った状態だと、停電からの復旧時に過電火災と呼ばれる火災が発生することがあります。
- 津波から避難
海岸や河川近く、津波の浸水予測地域にいる人は、できるだけ早く鉄筋コンクリート造の3階以上に避難しましょう。

●避難するとき

- 家族の安否確認
けが人が出た場合は、自力や近所の助けを待って病院へ向かうことを考えましょう。
- 隣近所の助けあい
地域ぐるみで協力して応急処置の体制をとります。お年寄りや身体の不自由な人、けが人が人に声をかけ、みんなで助け合いましょう。
- 外に出るときは慎重に
外ではガラスや瓦などが落ちやすくなります。冷静に状況を判断しましょう。
- 余震に注意!
余震に備えて外に出る場合は、安全な服装で身を守りましょう。
- 車で避難しない
車の避難は道路が寸断されて車が動かなくなる危険のほか、緊急車両の通行を妨害するおそれがあります。
- ラジオ・テレビをつける
乾電池式や充電式のもので、被害情報を出来るだけ早く確認しましょう。

●復旧に向けて

- 水・食糧は備蓄品でまかなう
災害からの3日間は、救援物資が届かず、商店での販売も出来ないことを想定し、家庭での備蓄がまかなえます。
- 正確な情報収集に努めましょう
災害時はデマなどに惑わされやすくなります。報道機関や市区町村、消防・警察などからの情報に注意しましょう。
- 家を離れる時はメモを残す
避難所に入った後、地域外に一時避難するなどで家を離れるときは、目立つ場所に避難済みシールを貼っておきましょう。
- いざというときの応急手当
「応急手当のおかげで一命を取りとめた」という例は少なくありません。応急手当を覚えておきましょう。
- やけど
すぐに水道水で冷やす。無理に衣服を剥がさない。
- 頭打(頭傷)
肩甲骨の間を平手で力強く4〜5回叩く。出なければ更に続ける。
- ガス中毒
窓を開け、ガスの元栓を締め、風通しの良い場所に移動し、仰向けに寝かせ衣服をゆるめる。
- けが(出血)
直接傷口の上から清潔なガーゼやハンカチなどを当て、強く圧迫する。
- 骨折
骨折部分が動かないよう、上と下にある2つの関節に固く長さのあてで固定する。

●緊急地震速報とは

緊急地震速報は、最大震度が5弱以上と推定する地震が発生した際に、強い揺れ(震度4以上)が起こる地域の名称を、揺れが来る前にテレビやラジオの放送でお知らせするものです。強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。テレビ等で緊急地震速報を視聴したら、あわてずに家具の転倒や落下物による怪我を避けるために机の下などに隠れましょう。

●震度と揺れ等の状況(概要)

震度	状況
4	ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。床の薄い建物が、倒れることがある。
5弱	大半の人が、恐怖を感じ、物につかまると歩くことが難しい。倒れるものが増える。傾倒していないブロック塀が倒れることがある。
5強	物につかまらなと歩くことが難しい。倒れるものが増える。傾倒していないブロック塀が倒れることがある。
6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものが増える。傾倒していないブロック塀が倒れることがある。
6強	傾倒していない家具の大半が移動し、倒れるものが増える。傾倒していないブロック塀が倒れることがある。
7	高層性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。高層性の高い木造建物でも、まれに傾倒するものがある。高層性の低い鉄筋コンクリート造の建物でも、倒れるものが増える。

●阿倍野区の揺れやすさと建物状況

(上)近畿圏地震による震度分布予測 (東南海・南海地震の震度分布予測) (市内の老朽木造住宅の分布) (市内の老朽住宅の密集地域)